
スマブラ日常 ～これが俺達の日常だ～

鳴神 ソラ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スマブラ日常　　くこれが俺達の日常だく

【Nコード】

N6324U

【作者名】

鳴神　ソラ

【あらすじ】

うちのスマブラキャラの日常です！スマハツ出張より超不定期更新になると思いますので気長に待っていてくださいm（＿）m

キャラ紹介（前書き）

マリオ「と言う訳で要望もあつた俺達の物語だ！」

ルイージ「総出演か…」

ガノン「そんな訳で簡単なキャラ紹介だ」

キャラ紹介

簡単なキャラ紹介

マリオ

メインキャラの1人でスマブラのリーダー、天然キャラで××料理処理人

料理は普通に出来るがキノコ料理はプロ級、恋心に超鈍感戦いや修行には一切手を抜かない。

仮面ライダーゼロに変身する

ソニック

メインキャラの1人、走ってないと落ち着かない。

走りと剣の腕前は一流、同じく恋心に超鈍感

擬人化時はマリオ位の身長に青髪の腰まで来る髪に緑色の瞳を持つ。

真ん中に白い丸模様が付いた青い服と青の短パンを履いている。

仮面ライダーカリバーに変身する。

ルイージ

メインキャラの1人、ツツコミ役その1

料理はプロ級、兄やソニックなどの超鈍感メンバーに苦労している。仮面ライダーコスモスに変身する。

クッパ

マリオのライバル、ツツコミ役がない時のツツコミ担当

擬人化出来るがあんまりしない。

影の支え役で相談役

ピーチ姫

マリオに恋する乙女、××料理人
その腕前は全ての世界にある××料理の集大成ではないかとの事
目標はマリオの第一婦人

ドクターマリオ

この小説ではマリオとルイージの従兄、様々な薬を作り出している。
良く別世界の女性陣におど：頼まれて薬を作っている。
ちなみにピーチの××料理に倒れたメンバーの介抱役

ワリオ

マリオのライバル、ツツコミ役がない時のツツコミ担当その2
この作品では下品ではない！下品ではない！大事なので2回書きま
す。

マリオの鈍感に呆れてる。

ヨッシー

大食いキャラで天然ツツコミ役。

好き嫌いはないがピーチ姫の料理は無理。

擬人化時は200cmあって緑髪之首まで来る髪で、黒い瞳、白の
半そでの上に恐竜マークが入った黄緑色のジャケットを羽織ってい
るが、時たま城戸 真司の服を着ている。

仮面ライダー龍騎に変身する。

ドンキーコング

パワフルキャラで面倒見が良いコング

バナナを食べればすぐ元気になる。

擬人化時はヨッシーよりちょい大きく、茶色の長袖と長ズボンを着
て、ネクタイを付けている。

ディディーコング

ドンキーの弟分

良くロイとコリンと悪戯をする。

擬人化時はカービィ位で茶色の髪、上は擬人化前ので下は青色の短パン。

キャプテン・ファルコン

この小説ではアニメ設定でバート・レミングでリュウ・スザクではない。

アニメ版最終話で消える所をマリオに助けられており、感謝して良くマリオを手伝っている。

仮面ライダーディエンドに変身する。

リンク

ハイラルの勇者、良くソニックやマルス達と剣の練習をしている。

最近の悩みはゼルダとテイルズ世界で契約した無口なシルフの睨みあい

仮面ライダーブレイドに変身する。

ガノンドロフ

通称ガノン、リンクとは普通に仲良し、最近はおでんの屋台を開いていて常連と話したり、恋する乙女の愚痴を聞いたりしている。

子供リンク

通称コリン、リンクの過去の存在、良くガノンの手伝いをしている。悪戯が好きでロイとディディーと結託する。

ゼルダ

リンクに恋する乙女、普通に作れるが良くピーチ姫とやるのでそれにより気絶する料理を時々作る。

トゥーンリンク

通称トゥーン、未来から来たリンクの子孫、リンクを御先祖様、ガノンをオジちゃんと呼んでいる。
ガノンの手伝いを時たまする。

トワリン

別世界のリンクで分かる為にトワリン、天然狼になれて、良く農業をしている。
仮面ライダーグレイブに変身する。

マルス

スマブラ剣士の1人、天然ツツコミ役
料理は上手い。紅茶を飲んでいる。
仮面ライダーアギトに変身する。

ロイ・フェレ

スマブラ剣士の1人、ツツコミ役
元気爆発で皆にはタメ口だがマルスには敬語
仮面ライダーガタックに変身する。

アイク

スマブラ剣士の1人、天然鈍感
あんまり喋らないが時たまズバツと言う男
シャークセイザーに変身する。

フォックス・マクラウド

メインキャラの1人、ツツコミ役その2で隠れDS
雇われ遊撃隊スターフォックスのリーダーだが最近の写真家として
良く色んな人の写真を撮っている。字が下手
擬人化してる時はファルコと代わらない身長で狐色の首まで来る髪

に狐耳と尻尾が付いている。

仮面ライダーレンゲルに変身する

ファルコ・ランバルディ

うちのスマブラメンバーで1番の苦労人。下手な字を読める持ち主。メンバー内で唯一女体化出来るスマブラメンバー。それで女性陣に弄られる事があり、フォックスやネスに笑われている。

男状態…ツバサクロニクルの黒鋼位の身長に腰まで伸びた青髪に前髪一房が赤くなっている。

女状態…男状態と身長と髪は変わらないがスタイルがボン・キュ・ボンになっている。

魔弾銃士リュウガンオーになれる。

ウルフ・オドネル

フォックスのライバルでガノンの屋台の常連、ツツコミ役
良く子供メンバーの面倒を見る。

擬人化時はファルコとフォックスより身長が高く、前髪一房が白い
灰色の髪、狼耳と尻尾が付いている。

仮面ライダーイクサに変身する。

カービィ

ヨッシーに続く大食い役だが同じくピーチ姫の料理は無理
自分の世界では喋れないが他の世界では喋れる。

擬人化時はツバサクロニクルの小狼位の身長に首まで来るピンク髪、
☆模様が付いたピンク色の半そでの上に黒いコートを羽織っている。

メタナイト

アニメ設定で一部から卿を付けられて呼ばれている。

ソニックとリンク達と剣の修行をしている。

擬人化時はカービィより上で青い髪にマルスの服に似た服を着てマ

ントを羽織っている。仮面をしている。

デデデ大王

アニメ設定でポケ役時たまツツコミ。

ガノンの屋台の常連、良くゴルフの練習をしている。

擬人化時は青い髪に自分の服と帽子を着ている。

サトシ

アニメの主人公、超鈍感

ゼニガメ、フシギソウ（マスターに貰った）、リザードンを使って戦う。

沢山の女の子やメスポケモンに好かれてる。

魔弾拳士リュウセイオーに変身する。

ルビー

サトシが出れない時の代理でポケスペ出身。

ゼニガメ、フシギソウ、リザードン
MEME、RIRI、DODOを使って戦う。

出る時は普通に自分の格好で出る。

魔弾双剣士リュウサイオーに変身する。

ピカチュウ

サトシの相棒、苦労ネズミポケモン

良くサトシと一緒にいるが1人である時もある。

自分の世界では喋れないがイメージワールドで喋れる。

プリン

歌が好きな女の子のポケモン

眠った子には落書きする。

擬人化時はサトシと同じ位でピンク髪の首まで来る髪に緑色の瞳、ピンクのビスチェと青の短パンを履いている。

ルカリオ

波導の勇者の弟子、サトシに恋するポケモン
サトシに波導を教えている。

擬人化時はサトシより長身で赤い目、水色の首まで来る髪にポケモン時のカラーリングなカンフースーツを着ている。耳と尻尾がある。

ミュウツー

スマッシュブラザーズの一員、ネスとリュカと共に超能力の修行をしている。ルカリオと同じ様にサトシに惚れているが気づいて貰ってない。

常時擬人化している。

擬人化時はルカリオ位で紫色の膝まで来る髪に紫の瞳、ワンピースを着ている。

ピチュー

ミュウツーに懐いているピカチュウの進化前
良くミュウツーの頭に乗っている。

ネス

メインの1人で超能力少年

ハーレムを楽しく暖かく見守るで良く笑顔で見ている。

仮面ライダーWジョーカーサイドに変身する。

リュカ

メインの1人でネスのツツコミ役

ネスと良くいて、ネスのフォローに回る

仮面ライダーWサイクロンサイドに変身する。

ピクミン&オリマー

面倒見の良い人で料理上手、ピクミンを傷付けない様になっている。
ファルコンとよくいる

サムス

一部のメンバーの鎮圧担当

ファルコンが好き。

料理は上手

ピット

マリオを尊敬する天使

怒ると物凄い笑顔で殴る。

仮面ライダーディケイドに変身するが時たま激情態になれる。

スネーク

メインの1人でツッコミ役その3

ダンボールを大事にしている。時たま蛇八先生として子供メンバー
+αに勉強を教えている。

仮面ライダー王蛇に変身する。

エイン

概要

スマッシュブラザーズの一員で本名エインシャント卿、別世界の出身者で来る際に大破してしまい、ネギま!の茶々丸似のガイノイドに移されている。ファルコが好き

Mr. ゲーム&ウオッチ

概要

通称ウオッチ、ツッコミ役で乱闘の際は実況を勤める事が多い、何時もの姿だと関西弁だが、人になった時は普通に喋る。

擬人化時はツバサクロニクルの小狼の身長を少し高くし、黒髪的首

まで来る髪に黒い瞳、黒い長袖と黒いジーンズを着ている。
ビートセイザーに変身する。

マスターハンド

概要

スマッシュブラザーズを作った神、真面目な性格で様々な物を作り出せて、この作品では普段は白色の首まで来る髪に赤色の瞳で白い長袖と長ズボンを着た男性の姿を取っているが時々手になる事がある。

クレイジーハンド

概要

マスターハンドの妹でマッドサイエンティスト、何かと色んな発明品を作るが時々爆発を起こして、マスターから愛の鞭と言う名の逆さ釣りを食らっている。この作品では白い地面まで付く髪に青色の瞳で袖なしの白服に緑色の短パンの上に白衣を羽織った女性の姿をしているがマスター同様に手になれるがしない。

タブー

概要

マスターハンドの妻、光る鎖で良く悪戯をしたメンバーを捕まえる。エインに苦手意識を持たれている。この作品では虹色に輝く膝まで来る髪に水色の瞳、水色のワンピースを着た人間の女性の姿をしている。

キャラ紹介（後書き）

マリオ「と言う訳でちょっと簡単なキャラ紹介だ」

ルイージ「出張版より不定期になるから気長に待っていてください
m（　　）m」

スネーク「だな…」

1スマッシュ…ピーチ姫の料理の威力

スマッシュブラザーズが集まる場所、スマブラ荘、そこでは…

カービィ&ヨッシー「……………」

ルイージ「ヨッシーいいいいいい！！！！」

デデデ「カービィ！しっかりするゾイ！」

カオスな空間になっていた。

昼のご飯を食べたカービィとヨッシーがブハッとした後に倒れこみ、それにルイージとデデデが駆け寄り、揺する。

ドクター「しっかりしたまえ！」

ワリオ「おいおい、これってよ…」

スネーク「ああ…」

ファルコン「すまないがサムス…確か君が昼の担当だった筈だが…」

ドクターが医療道具を持って2人に駆け寄り、ワリオとスネークが冷や汗を流し、ファルコンがサムスに話しかける。

サムス「そつ、そうなんだけど…」

ピーチ「忙しそうだったから私が手伝ったわ？」

マリオ&気絶した2人とピーチ、サルス、ゼルダを除いた一同「（最悪だあああああ！！）」

モジモジするササスの隣でピーチが言い、ゼルダとマリオ、気絶した2人を除いた一同は心の中で叫ぶ。

マリオ「おいおい、どうした皆？」

心の中で叫んでいるメンバーに平然と食べてるマリオが聞く。

サトシ「あの、手伝ったのって何をですか？」

サトシは恐る恐る聞く。

ちなみに昼食はオムレツやオニギリ、サンドイッチでピカチュウやピチュー、サトシとルビーのポケモンは普通にポケモンフードである。

その内のオニギリを食べた2人は倒れた。

ピーチ「オニギリの一部とサンドイッチの一部をやったわ♪」

プリン「（と言う事はオムレツは大丈夫なんだね！）」

デイディー「（良し！）」

ネス「（オムレツを食べよう！）」

ピーチの言葉にプリン、デイディー、ネスはオムレツを食べるが…

バタッ！ババババババババババ（魂の持って行かれる音）

リュカ「ネスうううううううう！！？」

ドンキー「ディディー！？」

サトシ「プリン！大丈夫か！？」

ピーチ「ちなみにオムレツには私特製ケチャップを使ってるわ♪」

ウォッチ「うわゝ凄い後からの説明って…」

ガノン「きつついな；」

ウルフ「ああ…」

オリマー「そう言うのは一緒に説明してくれないかな；」

倒れた3人に慌ててリュカ、ドンキー、サトシが起こし、ドクターが介抱している間にピーチがてへっと笑い説明してウォッチ、ガノン、ウルフ、オリマーは冷や汗を流す。

コリン「けっ、けど一部だから大丈夫だよ！」

ロイ「そっ、そうだな！」

メタナイト「では…」

ルカリオ「サンドイッチを…」

そう言ってそれぞれコリン、メタナイトはオニギリ、ロイ、ルカリオはサンドイッチを取り…

パクッ

コリン「ぐはっ！」

ロイ「うっ！」

メタナイト「（ピシっ！）」

ルカリオ「当たってしまった…」

呻いた後に倒れた。

マルス「ロイいいい！！！」

アイク「当たる確立高いな（モグモグ）」

ソニック「Hey, アイクは何時の間に肉を作ってるんだよ。」

リンク「コリン、大丈夫ですか!？」

サトシ「ルカリオまで!？」

トワリン「メタナイト卿、大丈夫か？」

それにまたメンバーが駆け寄る。

ピーチ「何で倒れてるのかしら？」

マリオ「美味いからじゃないか？」

ピーチ「ああゝ」

ルイーダ「違うんですけどゝ！（Π―Π）」

クッパ「（ホントマリオの舌は凄いのだ；；）」

首を傾げるピーチにマリオはそう言い、ルイーダは心の中で泣き、クッパは冷や汗を流す。

クレイジー「（いやゝ凄いなゝ）」

マスター「クレイジー…お前、使ってるだろ？」

もしやもしかとおニギリを食べるクレイジーにマスターは睨む。

それにクレイジーは目を反らすと…

クレイジー「すいません…頭に血が…」

外の木にクレイジーを逆さ吊りにした後にマスターは戻る。

タブー「もう、クレイジーは…」

それにタブーはため息を付く。

エイン「これなら大丈夫ですよマスターファルコ」

ファルコ「サンキュー」

フォックス「あつ、ファルコズリー！」

ウォッチ「エインさんの奴使うってあり；」

ファルコ「お前等も頼めば良いだろ？」

エインが差し出したサンドイッチをファルコは受け取って食べるのにフォックスとウォッチが絡み、ファルコが呆れた顔で言う。

その後、エインによってメンバーはちゃんと食べれて、ピーチ姫が作ったのはマリオが全て食したのであった。

クレイジー「……あゝ頭が…」

ちなみにクレイジーは3分後に解放されたのであった。

1スマッシュ…ピーチ姫の料理の威力（後書き）

ミュウツー「という訳で最初の1話だったが…」

ピカチュウ「初っ端からカオスだよ。」

ルビー「だね」

ピチュー「ピチュー？」

ゼルダ「感想を待ってます♪」

2スマッシュ…七夕に願いを（前書き）

マリオ「と言う訳で今回は七夕だ！」

ルイージ「そうだね」

2スマッシュ…七夕に願いを

1年1度の七夕、スマブラ荘でもその準備が完了していた。

サトシ「『絶対ポケモンマスター』だな！」

フォックス「『写真をさらに上手く取れる様に』…」

ファルコン・ハート「おいリーダー!!! お前は何願ってるんだよ! ってか俺女神状態かよ! しかも織姫かよ!!!!」

フラン「似合ってるよ不動♪」

お空「うにゅ♪」

エイン「2人の言う通りですマスターファルコ（ドクドク）」

サトシとフォックスが短冊に願いを書いて、フォックスの願いに世間で言われてる織姫の服を着たファルコもとい擬人化+女神化したファルコン・ハートはツツコミ、遊びに来ていたフランとお空が褒め、エインは鼻から忠誠心を流していた。（ファルコン・ハートの外見はコラボ中心のスマハツ出張版の真王さんの最初のコラボを見れば分かります）

ちなみにファルコン・ハートの願いは『脱、苦勞!』でエインのは『マスターファルコと共にいられます様に』である…ファルコン・ハートのは叶いそうにないな…

ファルコン・ハート「うおおおおおい!!!」

デデデ「うるさいゾイ」

ウルフ「煩い女神だ」

ガノン「だな」

ナレーションの無慈悲な言葉に叫ぶファルコン・ハートに同じく笹の葉に括り付けていた3人は言う。

ちなみに…3人の願いは以下のとおり…

デデデ…新しいゴルフクラブ

ウルフ…イクサ強化

ガノン…商売繁盛

…である。

コリン「これだよね『未来の僕が刺されません様に』」

トウーン「あつ、コリンも僕も『御先祖様がマリオさん達の様にならない様に』だよ」

ネス「『今後もハーレムを暖かく楽しく見守れます様に♪』」

リュカ「『ネスが倒されません様に；』」

リンク「あの…不安なんですけど…；」

コリンの願いにトゥーンも自分の願いを言い、笑顔で書くネスの隣で冷や汗掻きながらリュカはそう書き、リンクは『精進出来ますように』と書かれた短冊を手にコリンとトゥーンの願いに冷や汗を流す。

ゼルダ「『精霊に先を越されませんに』」

ロイ「こええな；」

ワリオ「マジな…」

ゴゴゴゴとオーラを放つゼルダにロイとワリオはそれぞれ『元気に過ごせます様に』『今年も無事に過ごせます様に』と書いた短冊を持って後ずさる。

カービィ&ヨッシー「『ピーチ姫の料理を食べても平気でいられます様に』」

ウォッチ「はははは、無理じゃない？」

メタナイト「あれはな…」

ドンキー「頑張れ2人共」

大食い2人の願いに『のんびり行けます様に』と書いた短冊を持ったウォッチはいきなり駄目だしし、短冊に『カービィの成長』と書いたメタナイトは同意し、『バナナ1年分』と書いたドンキーが言う。

オリマー「『新しい親友との出会いがあります様に』」

ディディ「『バナナ1年分♪』」

スネーク「おいしい、ディディはドンキーと同じか；」

プリン「『歌っても誰も眠りません様に♪』」

書いてるオリマーの隣にいるディディの願いに『仲間が修羅場に巻き込まれません様に』と書いたスネークはそうツツコミ、プリンは鼻歌歌いながら短冊を飾る。

ピチュー「ピチュー！」

ミュウツー「書けたのか：なんて書いたんだ：『ミュウツーがサトシとなれますように』／／／」

ピカチュウ「はいこれ飾って」

ルカリオ「分かった：『サトシと何時でも一緒』：流石はパートナーだな」

ピチューより渡された短冊を読んで顔を赤くするミュウツーの隣でピカチュウがルカリオに渡し、ルカリオはそう言う。

ちなみに2人の願いは『サトシとさらに深い絆を結べる様に』である。

ピット「『鉄拳制裁天使と呼ばれません様に』」

ルビー「『サファイヤとカガリさんが仲良くなれます様に』」

トワリン「お前等大変だな…『狼化してる時に犬と言われません様に』」

アイク「…お前もな…『肉1年分』」

マルス「君も君でね；」

ピットとルビーの願いにトワリンはそう言い、アイクがツツコミ、アイクの願いに『故郷が平和であります様に』と書いた短冊を持ったマルスは冷や汗を掻く。

ピーチ「『目指せ第1婦人♪』」

クツパ「ピーチ姫；」

サムス「『皆が元気でいます様に』」

バート「『リュウさん達が元気でいます様に』」

ドクター「今回はバートなんだね」

バート「良いじゃないですか」

ピーチ姫の願いに『マリオが（ピーな意味で）襲われません様に』と書かれた短冊を持ったクツパは冷や汗を流し、サムスの隣にいるバートに『新しい葉が作れます様に』と書かれた短冊を持ったドクターが話しかけ、バートは苦笑と言う。

クレイジー「『新しい発明が出来ます様に♪』」

マスター「『クレイジーが大人しくなります様に』」

タブー「『マスターといられます様に』」

神様3人もそれぞれの願いを書いて短冊に飾る。

マリオ「今回は綺麗だな」

ソニック「YES」

ルイージ「2人共、もう書いた？」

屋根の上で寝転がり、夜空を見てる2人にルイージは話しかける。

マリオ「俺は『弟子が元気に過ごせます様に』だな」

ソニック「『今年も元気に走るぜ!』だぜ」

ルイージ「2人とも何時も通りだね」

マリオとソニックの願いにルイージはそう言う。

マリオ「それでルイージ、お前は？」

ルイージ「僕？僕はね…『色んな世界の人々が元気良く行けます様に』だよ」

マリオの問いにルイージは笑って言う。

そして3人は七夕の夜空を見る。

2スマッシュユ..七夕に願いを（後書き）

と言う訳で七夕だったんでこう言う話になりました！

スネーク「色々あったな…」

ワリオ「だな」

ネス「感想を待ってます♪」

3スマッシュ…バカンスinドルピック島(前書き)

ルイージ「と言う訳で3話目!」

スネーク「今度はバカンスか」

フォックス「そうだな…」

3スマッシュユ..バカンスinドルピック島

サトシ「キャホー!!」

カービー「いえ〜い♪」

元氣良く海へ飛び込むサトシとカービー、他にも子供メンバーが元気に遊ぶ。

ルイージ「あんまりはしゃぎ過ぎない様にね〜」

アロハシャツを着たルイージが海ではしゃいでいる子供メンバーに言う。

今スマブラメンバーはドルピック島へバカンスに来ていた。

スネーク「のんびり出来るな…」

クッパ「出来てない奴がおるがな…」

サングラスをかけて海パンを履いたスネークが呟くとクッパがある方向を見て言う。

シルフ「……………邪魔…………」

ゼルダ「邪魔なのはあなたです☆」

リンク「;」

ゴゴゴゴとそれぞれ水着を着たシルフとゼルダに挟まれたパーカーを羽織って海パンを履いたリンクは冷や汗をダラダラ流している。

フォックス「うおおおおおおお！！！！！」

ウンディーネ「待て待て♪」

クリスタル「待ちなさいフォックス！」

走れ走れ俺達と言う音楽がピッタリな走りを見せるフォックスに波の上に乗ってティルスシリーズのウンディーネとスタフォの方のクリスタルが追う。

クッパ「ムチャシヤガッテ…」

ルビー「それに比べて…あっちは普通ですよね」

その光景にそう言うクッパにビーチチェアにリンクと同じ様にパーカーを羽織って寝転がり、本を読んでるルビーが別方向を見ている。

フラン「不動…此処が良い？」

ファルコン・ハート「ああ…」

お空「うにゅ…此処かな？」

ファルコン・ハート「お空はもう少し下を揉んでくれ」

エイン「マスターファルコ、ジュース持って来ました」

ファルコン・ハート「サンキュー」

最初は女性陣に女神化され、ビキニを着せられて不機嫌だったファルコン・ハートであったがフランとお空に引かれたシートに寝転がされた後、フランとお空にマッサージされ、エインにジュースを持って来てから普通にのんびりしていた。

バート「はい、ご要望のカキ氷の出来上がりです」

ロイ「待ってました！」

サムス「ホントね」

プリン「わ〜い♪」

海の家でバートが作ったかき氷をロイとサムスにプリンは取って食べる。

外ではトロピカルジュースを飲みながらピーチが泳いでいるマリオを見ている。

オーナー「いや〜すまないね」

バート「いえいえ、こちらもカフェを経営してる側なので忙しいのは分かりますよ」

頭を掻く海を家のオーナーにバートは笑って言う。

ミュウツー「良いな…」

ルカリオ「そうだな」

それぞれ海岸で水着を着たミュウツーとルカリオは遊んでいるサトシ達を見て言う。

ちなみにミュウツーはワンピース、ルカリオはスポーツタイプのである。

バシヤツ！

ミュウツー「むっ！」

ルカリオ「（ブルブル！）」

サトシ「おい！ミュウツーとルカリオも来いよ！」

トウーン「そうだよ」

ピチュー「ピーチュー！」

突然水をかけられ、ミュウツーは顔の水を飛ばし、ルカリオが顔をブルブルするとサトシとトウーンはそう呼びかけ、ピチューも呼ぶ。

それに2人は笑った後にサトシ達へ向かう。

ソニック「ふう〜走らないときついもんだね」

ヨッシー「いや〜良く走りますね〜のんびりしましょうよ」

ドンキー「そうそう」

一通り走って額の汗を拭うソニックにそれぞれフルーツを食べながらヨッシーとドンキーが言う。

ドクター「大丈夫かい？」

ピット「なんとか…」

オリマー「ホントにね、倒れた時はビックリしたよ」

こちらはこちらでダウンしたピットを介抱しながらドクターとオリマーがそう言う。

ドクター「皆元気に動いてるね」

トワリン「ガノン達もこっちにすれば良かったのにな」

オリマー「あの人達はあの人達でね、それにあっちにもビーチがあるしね」

ピットを介抱してる間ドクターは遊んでるメンバーを見て言い、トワリンは此処にいないワリオ、ガノン、マルス、アイク、ウルフ、メタナイト、デデデ、ウオッチ、マスターにクレイジー、タブーを思い出して言い、オリマーが苦笑してそう言う。

そんなこの場にいない彼等が何をしているかと言うと…次回！

3スマッシュ…バカンスi n ドルピック島(後書き)

ワリオ「次回になるんだな」

マルス「らしいね」

ウルフ「だな」

ウォッチ「感想を待ってるよ♪」

4スマッシュ…バカンスi nドルピック島パート2 (前書き)

スネーク「3スマッシュでいなかったメンバーの話だ」

ワリオ「理由はな…」

ウルフ「本編を見ろ」

4スマッシュ…バカンスinドルピック島パート2

マンマビーチにいるマリオ達とは違うシレナビーチにて…

マスター「綺麗だなタブー」

タブー「そうですね…」

海を見ながらマスターはそう言い、タブーはマスターの肩に預けながら同意する。

ちなみにホテル・デルフィーノにて…

ワリオ「おっ！当たった！」

デデデ「むむむ…」

あの場にいなかったクレイジーを除いたメンバーがカジノで遊んでいた。

ちなみにメタナイトとアイクはデデデとマルスにより連れて来られた。

アイク「ん？7が揃ったな」

メタナイト「貴公はまたか」

ワリオ「かくお前凄いなアイク」

何気なしに7を揃えたアイクに見ていたメタナイトはそう言い、ワリオは感嘆の声を上げる。

ウルフ「ちっ、ハズレか」

デデデ「なかなか当たらないゾイ」

マルス「大穴狙うからですよ」

ガノン「そうだな。此処はコツコツとやらないとな」

舌打ちするウルフの隣で不満げな顔をするデデデにこまめに当てながらマルスとガノンがそう言う。

ウォッチ「ファイバーファイバーまたファイバー♪」

アイクを除いた一同「お前もお前で当て過ぎだウォッチ；」

連続でラッキーフを当てまくるウォッチにアイクを除いたメンバーはツツコミを入れる。

アイク「当てまくるのは普通じゃないのか？」

ウォッチ「そうだよ♪」

アイクを除いた一同「普通じゃないぞ；」

首を傾げるアイクにウォッチはそう言い、全員がツツコミを入れる。

ワリオ「さあゝせ、増やした金で会社の奴等のお土産も買わないと

な…これだと後もうちよいだな」

ウルフ「俺も部下達にな」

ワリオは懷からお土産リストを取り出して確認し、ウルフもタバコ（火を付けてない）を銜えながらそう言う。

ガノン「俺は俺で屋台に合うお酒だな」

マルス「僕は国の皆にね」

デデデ「ワシは城の奴等が驚く奴を買うゾイ」

ウォッチ「僕は色々」

メタナイト「私もそうだな」

アイク「珍しい肉と皆に」

ワリオ「肉買うのデフォだなお前」

残りのメンバーも言った後にアイクの言葉にワリオがツツコミを入れた後にある事に気づく。

ワリオ「そういや…クレイジーの奴もいたよな？」

ガノン「そう言えば…姿が見えないな…」

ウォッチ「それだったら何かカジノの悪いとこ直した後に別の場所のを見てるんだって」

周りを見るメンバーにウォッチがそう言う。

その頃のクレイジー

クレイジー「ううゝ泳ぎたい、ゆっくりしたいのにゝ（Π―Π）」

支配人「すみませんねゝ」

泣きながら整備していて、支配人は汗を拭いながらそう言う。

なお、このクレイジーのお陰でホテルの宿泊料と料理がただになったのであった。

4スマッシュ…バカンスi nドルピック島パート2（後書き）

マリオ「ありゃま」

ルイージ「クレイジーは大変だね；」

スネーク「まったくだな」

ネス「感想を待ってます♪」

5スマッシュ…バカンスinドルピック島パート3（前書き）

フォックス「と言う訳で5スマッシュだ！」

ルイージ「長らく待たせてゴメンね。」

スネーク「ショータイムだ！」

5スマッシュ…バカンスinドルピック島パート3

マリオ「そりゃあ…」

ソニック「苦勞したな」

クレイジー「まったくだよ」

夕食の時にクレイジーがしていた事をワリオから聞き、マリオとソニックは顔を見合わせて苦笑し、クレイジーが沢山食べながら言う。

カービィ「そのお陰でタダだから良いよね♪」

ヨッシー「ですね♪」

ワリオ「だからって食べ過ぎんなよ。」

ドンキー「腹八分目だぞ」

クッパ「そうなのだ」

バクバクと大量の料理を食べるカービィとヨッシーにワリオが言い、ドンキーとクッパが続ける。

ピーチ「それで明日はどうする？私はビアンコヒルズに行こうと思ってるんだけど…マリオは？」

マリオ「俺はマーレのいりえですね。のんびり釣りをしようかと…」

ソニック「だったら俺も行かせて貰おうか」

ルイージ「僕も」

ヨッシー「私も同行します」

ファルコ「んじゃあ俺たちも行かせてくれ」

エイン「私も行かせて貰います」

サトシ「俺も！」

クレイジー「私も」

ピーチの問いにマリオはそう言って、ソニック、ルイージ、ヨッシー、お空とフランにアーンをしているファルコとエイン、サトシにクレイジーも手を上げる。

クッパ「我輩はビアンコヒルズでのんびりなのだ！」

ガノン「それじゃあ付いて行こう」

マルス「それじゃあ僕も行きますよ」

アイク「俺も行こう」

ウォッチ「僕はリコハーバーでイカサーフィンをしに行くよ」

ワリオ「俺様も同行させて貰うぞ」

ウルフ「俺もだ」

ファルコン「それじゃあ我々はピンナパークだな」

サムス「そうね」

ネス「どれから乗る？」

リュカ「そうだね」

ドンキー「楽しみだな」

デイデュー「うん！」

フォックス「俺も行かせて貰うよ」

わいわい話してそれぞれの行き先を決めるメンバーにタブーは微笑み、マスターも笑う。

マリオ「マスターやタブーはどうするんだ？」

マスター「私達はモンテ村でのんびりさせて貰うよ」

タブー「温泉がありますからね」

マリオの問いにマスターはそう答え、タブーはそう言う。

そして夕食を終えた後にそれぞれ部屋で寝る時間まで遊んでいるのであった。

マリオ「げっ！？ジョーカー来ちゃったよ！」

ルイージ「良し！後もう少しだ！」

ソニック「悪いけど、上がらせて貰うぜ！」

クッパ「ううゝむ…」

マリオ、ルイージ、ソニック、クッパはババヌキをしていた。

リンク「…私は無事に行けるんでしょうか？」

フォックス「リンク…言うな！」

ワリオ「お前等…ホントに苦勞してるな！」

リンクとフォックスはそれぞれの身を案じてビクビクしてワリオは目を線にして言う。

ファルコ「お前等な…」

フラン「♪」

お空「うにゅ♪」

エイン「暖かいですね♪」

こちらはおしくら饅頭な感じで寝ていた。

明日はどうなるのやら…

5スマッシュ…バカンスinドルピック島パート3（後書き）

フォックス「という訳で5スマッシュでした！」

ルイージ「分けてやるよ」

スネーク「だな」

デデデ「楽しみにしてるゾイ♪」

6スマッシュ…バカンスinドルピック島パート4（前書き）

ウォッチ「今回はリコハーバーに行った僕達の話だよ」

ウルフ「だな」

ワリオ「さて、イカサーフィンを楽しむぜ！」

6スマッシュ…バカンスinドルピック島パート4

ワリオ「おっととととと！」

ドルピック島一の港町であるリコハーバーでワリオはウォッチとウルフに見られながらバランスを取ろうと体を動かす。

ワリオ「うおわっ！」

だが、健闘むなしく、ワリオはイカから落ちてしまう。

ワリオ「うひい…難しいな」

従業員「そこは慣れる為にも緑の方が良かったと思うよ観光人」

海から這い上がるワリオに従業員は苦笑してそう言う。

ウルフ「んじゃ俺は黄色で行かせて貰うぞ」

ウォッチ「ガンバ♪」

それを見た後にウルフが黄色のイカに乗って飛び出す。

そして、綺麗に動いていく。

ワリオ「おうおう、上手く動かしてるな…」

従業員「ああ、前来た髭の旦那に劣らない動きだな」

そして今度はジャンプしたりターンをして戻って来る。

その後、何回かやった後に3人は歩いていると困ってるモンテ族を見つける。

ワリオ「おい、どうした？」

モンテ族「ん？ああ、この色んなフルーツを入れた2つの貯蔵庫の中のフルーツが詰まってよう。上を押していけば1つずつ出て行くからやっていたら元に戻れると思うんだが…」

ワリオの問いにモンテ族はそう言うのと3人は顔を見合わせる。

ウォッチ「んじゃあ行くよ」

ワリオ「おう！こっちも良いぜ！」

ウルフ「片付けは任せろ」

右の貯蔵庫の上に立ったウォッチがそう言い、反対側に立ったワリオが言い、ドリアン対策に軍手と籠を用意したウルフがそう言う。

ウォッチ「よいしょ！」

ウルフ「よっ」

ウォッチが踏むと同時に最初にパイヤが飛び出し、それをウルフは掴む。

ワリオ「よいっしょ！」

ウルフ「ほっ」

次にワリオはヒップドロップして、次に出たバナナをウルフは掴む。

ウォッチ「よいしょ！」

ウルフ「おおっと！」

もう1回ウォッチが踏むとドリアンが出て来て、ウルフは籠で受け取る。

それを10回以上やって行く。

ワリオ「後、何回すりゃあ良いんだ？」

ウルフ「そうだな…」

モンテ族「そろそろ詰まりが取れても良いんだがな…」

ウォッチ「んじゃあ…これでどうかなっと！」

座って言うワリオに出てきたパイナップルを置いたウルフが同意して、モンテ族が呟くとウォッチがスイッチを踏むと…

ウルフ「うおっ!？」

何時もよりデカイパイナップルが出て来て、ウルフはそれに驚きながらそれをキャッチする。

その後、フルーツが沢山出て来る

モンテ族「おお、こんなのが引っかかったのか！」

ウルフ「そりゃあ詰まるよな……」

ワリオ「そうだな……」

ウォッチ「いや、良かったね」

それにモンテ族は驚き、ウルフとワリオは呆れ、ウォッチはそう言う。

その後、3人はお礼にフルーツを貰って皆と合流するのであった。

6スマッシュ…バカンスi nドルピック島パート4（後書き）

ワリオ「待たせたな！」

ウルフ「やっとだな」

ウォッチ「ゴメンね〜次回を待っててね！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6324u/>

スマブラ日常 ～これが俺達の日常だ～

2011年11月29日15時46分発行